

多文化共生の推進に関する研究会

日時：令和元年12月25日（水）

13:30～16:00

発表者：山浦 育子

自己紹介

氏名: 山浦 育子

出身国: 中国

在日歴: 29年(1990年来日)

所属: 荒川区文化交流推進課都市交流係

経歴: 多文化共生マネージャー16期

NPO多文化共生マネージャー全国協議会 理事

相談通訳専門家(中国語)

話の内容①

日本での生活において、行政サービスの面で不便を感じたことは、具体的にどのようなことがあるか。

➤ 特になし

強いて言えば、専門用語の説明、たまに言葉の壁を感じる。

➤ 同じ説明を繰り返される

本当はもっと聞きたいのだが、面倒になって、ついつい「分かりました」と言ってしまうことがある。

話の内容②

地域またはSNSなどにおいて、外国人のコミュニティなどはあるか。
その際、外国人同士がサポートし合う仕組みなどはあるか。

➤ 地域にコミュニティがある

台風など災害が来る前に、自らSNSを発信している。

➤ 地域の担い手とのつながり、普段から顔の見える関係づくり、情報提供など

➤ 外国人同士のサポート

同じ国のコミュニティがあり、違う国同士のサポートはまだない。

話の内容③

外国人の目から見て、特に地方公共団体における多文化共生施策の課題はどのようなものがあるか。

➤ 知ってもらう、使ってもらうことが大事

➤ 行政・協会→NPO・NGO→ボランティア→外国人

外国人がいきなり行政との連携と言われてもハードルが高い。

まずは身近な日本人(会社同僚、ママ友など)から情報を得る。

➤ 外国人も支援者側になってもらう